

# 病院を受診された患者さまへ

当院では機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (研究番号)	レーダーチャート解析と有限要素解析を用いたセメント Dual Mobility Cup の至適設置角度の検討 ーカップ被覆角度および摺動面圧分布に基づくインピンジメント回避と力学的安定性の解析ー
当院の研究責任者 (所属)	仲宗根 哲 (整形外科)
他の研究機関および 各機関の研究代表者	該当なし
本研究の目的	本研究は、人工股関節全置換術（THA）においてセメント固定型 Dual Mobility Cup（DMC）を使用した患者さんを対象に、術後の CT 画像とコンピューターを用いた力学解析である有限要素解析法を組み合わせ、どの角度でカップを設置することが最も安全で安定するかを調べます。カップの角度が変わると、インプラントへの応力の集中やインプラント同士がぶつかるリスク（インピンジメント）のリスクが変わるため、より安全で長持ちする角度を明らかにすることを目的としています。
研究実施期間	（研究機関の長の許可日）～2030 年 11 月 30 日
調査データ(該当期間)	2021 年 1 月～2025 年 11 月の期間の情報
研究の方法 (利用する試料・情報等)	対象となる患者さま 2021 年 1 月～2025 年 11 月の期間に琉球大学病院において変形性股関節症のためセメント使用型 Dual Mobility Cup を用いた人工股関節全置換術を受けた方。 利用する情報 初診、術前、術後 1 週、術後 1 か月、術後 3 か月、術後 6 か月、術後 1 年、術後 1 年以降の通常の観察期間で得られた以下のデータを用います。 年齢、性別、身長、体重、BMI、既往歴、内科合併症、術前 ADL、術前 Physical status、疼痛、歩行脳旅行、手術時間、出血量、離床までの日数、荷重開始時期、術後 ADL、合併症、死亡の有無。骨粗しょう症治療薬の使用の有無、画像評価では単純 X 線、CT 画像を用いてカップと寛骨臼の形態学的評価や有限要素解析を行います。
試料/情報の 他の研究機関への提供	他機関に情報提供はしません。

および提供方法	
試料・情報の二次利用	本研究で得られた情報を別の新たに利用する可能性があります。その場合は、改めて倫理審査委員会で承認された後、研究機関の長の許可を得て実施します。
個人情報の取り扱い	研究にあたっては、対象となる方の個人を特定できないよう、情報は符号化し管理します。個人情報を使用しません。また、研究結果を学会等において発表することがありますが、個人情報が特定できる情報は一切使用いたしません。得られたデータ及び、匿名化に用いた対応表は研究分担者・高江洲美香厳重に管理し、講座内の施錠できる研究室のハードディスクにデータで保存し、パスワードなしでのアクセスを不可能とします。
研究への協力について	本研究は、診療情報・画像データの提供のみで完結し、患者の診療方針に影響を及ぼすことはありません。本研究への情報利用を希望されない場合は、下記問い合わせ窓口までお申し出ください。研究への不参加により診療上の不利益が生じることはありません。
本研究の資金源 (利益相反)	寄付金及び、病院研究基盤経費を使用します。 本研究の実施に関しては、特別な利益相反はありません。 本研究は琉球大学利益相反審議部会に必要事項を申告し、その審議と承認を得るものとします。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 琉球大学病院 整形外科 沖縄県宜野湾市字喜友名 1076 番地 研究責任者：仲宗根哲 研究分担者：國吉さくら Tel: 098-894-1416 Fax: 098-894-5284
備考	